

第43回 静岡県ボランティア研究集会

やらまいか♪
浜松♪

今だからこそ 思いやりとささえあいのハートモーター

日時：2022年2月13日(日)10:00~16:30

会場：浜松市浜北文化センター(浜松市浜北区貴布祢 291-1)

主催 特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会・公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会
共催 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会・社会福祉法人浜松市社会福祉協議会
実施主体 第43回静岡県ボランティア研究集会実行委員会
後援 静岡県・静岡県教育委員会・浜松市・浜松市教育委員会

表紙デザイン協力：亀田佳那（静岡文化芸術大学デザイン学部4年）
—静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成事業—

手話通訳
要約筆記
あります

第 43 回静岡県ボランティア研究集会

やらまいか！ 浜松！
今だからこそ
思いやりとささえあいのハーモニー

この2年、新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活は大きな影響を受けました。ボランティア活動も例外ではなく、活動中止、規模縮小など厳しい選択をしなければならないことの連続でした。

ボランティアは、互いに思いやり支え合いながら、その人が自分らしく生きていくことに常に寄り添っています。それは、どんな状況下でも、今までも、これからも変わりません。

この状況に立ち向かい、乗り越えていくために、今だからこそ、ボランティアの新たな可能性や広がりを考えてみませんか？

持続可能なボランティア活動を目指して、繋がり^の輪をここ浜松から作っていきましょう。

みんなの気持ち一つで新たな輪が広がります。

時にそれは空を舞う無数の大凧のように、時にそれは天竜川^{とうとう}の滔々とした流れのように、人々の心を動かし、未来を作る一端を担っていくはず。

「やらまいか」の掛け声と共に、私たちのボランティア活動を、必要としている人や場所まで届けましょう!!

【プログラム概要】

10:00~10:15	オープニング
10:15~10:30	開会式・オリエンテーション
10:30~12:00	基調講演
13:00~15:30	分科会（7分科会） * 7つの分科会に分かれ、テーマに基づき話し合いや情報交換を通して、互いのボランティア活動への学習とボランティア同士のネットワークづくりを図ります。
15:45~16:30	全体会・閉会式

10:00~10:15 オープニング

障がいのある子ども達とその兄弟によるダンスグループ・Weedy（ウィディー）によるダンスパフォーマンス

10:15~10:30 開会式

開 会 開会のことば
主催者あいさつ
来賓ご祝辞
実行委員長あいさつ

10:30~12:00 基調講演



基調講演 テーマ:

コロナ禍の貧困の現場から見てきたもの



あまみや かりん
講師：雨宮 処凛さん（作家・活動家）

◆プロフィール

1975年、北海道生まれ。作家・活動家。フリーターなどを経て00年、自伝的エッセイ『生き地獄天国』（太田出版/ちくま文庫）でデビュー。06年からは貧困問題に取り組み、『生きさせろ! 難民化する若者たち』（07年、太田出版/ちくま文庫）はJCJ賞（日本ジャーナリスト会議賞）を受賞。著書に『「女子」という呪い』（集英社文庫）、『非正規・単身・アラフォー女性』（光文社新書）、『ロスジェネのすべて 格差、貧困「戦争論」』（あけび書房）、対談集『この国の不寛容の果てに 相模原事件と私たちの時代』（大月書店）、『相模原事件裁判傍聴記 「役に立ちたい」と「障害者ヘイト」のあいだ』（太田出版）など多数。最新刊は『コロナ禍、貧困の記録 2020年、この国の底が抜けた』（かもがわ出版）。

◆雨宮処凛さんからの一言メッセージ

2020年4月頃から、コロナ不況による困窮者支援をしています。

今に至るまで連日のように「コロナで仕事が無くなった」「何日も食べてない」「昨日ホームレスになった」というSOSが寄せられています。

そんな支援の現場から見てくる日本社会のあり方についてお話したいと思っています。

13:00～15:30 分科会

次の7分科会の中から、ご希望の分科会をお選びください（第1希望・第2希望まで）。
希望者が多い場合は、事務局で調整させていただきますのでご了承ください。

第1分科会 (ボランティア)

ボランティアってなんだろう？ ～聞いて、話して、考えてみよう～

ボランティアってなんだろう？ ボランティアが社会で果たす役割は年々大きくなっています。それでも、自分ごとに考えてみるとどうでしょうか？ 「ボランティアに興味はあるけどよくわからない」「ボランティアをしているけど悩みがある……」「ボランティアって楽しい！」ボランティアへの想いは、十人十色です。この日は、ボランティアをしている人もまだしていないという人も、ボランティアについて聞いて、話して、考えてみませんか？

『わたしにとって』ボランティアってなんだろう？ その答えに少し近づく分科会です。

- テーマ：①ボランティアをするのは、誰のため？
②あなたのボランティア、わたしのボランティア～いろんな活動を知ろう、話そう～
③これからの活動を考えよう

ゲスト：大山浩司さん（NPO法人ドリーム・フィールド 代表）
大山湧希さん（ドラム講師）

第2分科会 (コロナと共に)

生活への影響 ～コロナの前と後～

世界各地に甚大な影響をもたらしているコロナウイルス。感染拡大に伴い、日本でも緊急事態宣言の発出に代表される「感染の拡がりを抑え込む」動きが加速した。医療現場は、感染対策にひっ迫し命を脅かす脅威と隣り合わせの現場で戦い続けている。コロナの影響は医療現場のみならず、『生活』にも大きな影響をもたらしている。『減収や失業』『孤立』『子どもたちの生活』など、コロナの影響で新たに「生活困窮」の対象とならざるをえない世帯が急増している。

当分科会では、コロナウイルスがもたらした生活困窮の実態を皆様と共有し、私たちができることを共に考えていく。

- テーマ：①コロナウイルスがもたらした生活困窮の実態
②コロナウイルスがもたらした「働く」への影響と取り組み
③コロナ禍での世帯に対する支援

ゲスト：子どもや世帯の支援、就労の支援に取り組んでいる団体や事業所の皆さん

第3分科会 (生活困窮)

生活困窮から再生へ ～映画『ダンシングホームレス』を観て考える～

どん底を経験した路上生活経験者の“生きる舞”
彼らの姿を追ったドキュメンタリー映画と出演者による生トーク。
ホームレス状態の一人ひとりの人生を観て感じて一緒に考えてみましょう。

- テーマ：①ホームレス状態の一人ひとりと向き合う
②「ビッグイシュー」とできること
③「フェアトレードショップ」とできること



静岡市における上映会後に寄せられた声 (2020年10月18日)

- ・ホームレスへのイメージが全く変わった。一括りにできない人生がある。
- ・経済的・物質的支援だけではなく、人間の尊厳や可能性をいかに尊重して、自立への足掛かりとする大切さを感じた。
- ・支援している人の自然さや謙虚さ、情熱が印象的であった。

- ・路上生活という経験から生み出される肉体的表現
- ・切なくユーモラスなこれまでにないダンスドキュメンタリー

ポストトーク：アオキ裕キさん((一社)アオキカク代表、ダンサー、振付家、「新人Hソケリッサ!」主宰者)
 新人Hソケリッサ! (路上生活経験者のダンスグループ)
 雨宮処凛さん (作家、活動家、認定NPO法人ビッグイシュー基金相談役)
 事例提供者：三室千菜美さん (フェアトレードショップ「晴天」店主)
 大滝 正さん (「ビッグイシュー静岡読者会」世話役)

第4分科会 (災害)

今の災害を考える

南海トラフ大地震の危機が叫ばれる中、突然襲ってくる地球温暖化による風水害。そこで何をすべきかを考えよう。災害体験者の方たちのお話を聞き、災害支援のNPO法人レスキューストックヤードの浦野愛さんに、今の必要な備えについてお話ししていただきます。

- テーマ：①熊本地震の被災体験 (熊本県より吉本 洋さん) と熊本豪雨の支援体験 (寺西貞昭さん)
 ②台風19号千曲川氾濫 (長野県より笹井妙音さん)
 ③浜松の大停電を体験して (浜松市より丸山由美さん)
 ④熱海市伊豆山の土石流災害より

ゲスト：浦野 愛さん (認定NPO法人レスキューストックヤード 常務理事)
 事例提供者：吉本 洋さん ((社福) 恵寿会 老人総合福祉施設グリーンヒルみふね 施設長) ※Zoom参加
 寺西貞昭さん ((社福) 恵寿会 老人総合福祉施設グリーンヒルみふね
 地域支援課 介護支援専門員兼災害支援マネージャー) ※Zoom参加
 笹井妙音さん (長沼歴史研究会会長・曹洞宗妙笑寺 住職夫人)
 丸山由美さん (浜松市内の自治会役員)

第5分科会 (当事者(多様性))

みんなが生きやすい多様性社会をめざして ～学んでボランティアの場で実践しよう～

LGBTとは、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーといった、性的マイノリティの代表的な人たちの頭文字を繋げた言葉です。そもそも性は多様であり、だれにも関係のあることです。でも、自分とは関係のない話、だと思っている人が多いのが現状。もし、性的マイノリティに出会ったら……。あなたはどんな風に接して、どんな言葉を掛けますか？ 当事者と一緒に、心配なことや疑問など、感じていることをみんなで話し合いませんか？ アライ (支援者・仲間) が一人でも増えるように、虹の輪を拡げていきましょう。これであなとも今日からアライ!!

※アライ (Ally) …性的マイノリティの当事者ではないが、活動に理解を示したり応援したりする人。支援者・仲間。

- テーマ：①LGBTはじめて講座 多様な性について知ろう
 ②当事者と話してみよう
 ③私たちがアライとしてできることは何だろう
 ゲスト：鈴木げんさん (浜松トランスジェンダー研究会 代表)

第6分科会 (ボラ連)

魅力あるボランティア連絡協議会の運営について

ボランティア活動をする個人や団体が、地域で連絡協調を図る目的で組織されているのが、ボランティア連絡協議会です。しかし、交流会や勉強会に係る運営費の捻出など資金のないのが現状です。また、高齢化社会への進行により、会員数や会員団体数の減少があり、世代交代も急務です。このような状態を打破していく先進事例を参考にしながら分科会を進めていきます。

テーマ：①運営資金の確保
②会員数の減少対策

ゲスト：木村佐枝子さん（常葉大学 健康プロデュース学部 心身マネジメント学科准教授／
地域貢献センター副センター長（浜松）／社会貢献・ボランティアセンター長）

事例提供者：佐野秀明さん（富士宮市ボランティア連絡協議会 会長）
東山喬彦さん（静岡市ボランティア団体連絡協議会 会長）

第7分科会 (Zoom・ICT)

Zoom（ズーム）で分科会 (オンライン参加のみ)



新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティア活動の実施が難しくなっていませんか？ICTをボランティアの世界にも取り入れて新しい生活での活動をみんなで考えましょう。

今回の研究集会ではZoomを使ったオンライン参加の分科会を準備しました。

Zoomの基本を体験し、メリット・デメリットを知り、さらに開催地である浜松市が立ちあげた「デジタル・スマートシティ推進事業」の概要を学びます。

インターネットなどの先端技術を利用し、市民サービスの向上等を目指すこの取り組みから、これからの私たちの生活を想像し、新しいボランティア活動のヒントを探っていきます。

テーマ：①Zoomを体験し、メリット・デメリットを知る
②デジタル・スマートシティ推進事業の概要について
③Web会議やICT技術をボランティア活動に活かすヒントを探る

助言者：湯瀬裕昭さん 静岡県立大学経営情報学部経営情報学科 教授
経営情報イノベーション研究科 教授（兼務）情報センター長
経営情報イノベーション研究科附属ICTイノベーション研究センター長

事例提供者：浜松市 デジタル・スマートシティ推進本部より

協力：静岡県立大学ICTイノベーション研究センター



オンライン参加
できます！



の意味は？

上記のマークがある講演・分科会では、Zoomを利用したオンライン参加ができます。
オンライン参加とは、お手持ちのスマートフォンやパソコンから、インターネットを通じて、講演を聞いたり分科会に参加したりすることです。



- ★オンライン参加を希望される場合は、申込書に必ずその旨をご記入ください。
- ★オンライン参加には、インターネットに接続できる環境とメールアドレスが必要です。
- ★参加のためのZoom接続情報等は、事前に申込書にご記入いただいたメールアドレスにお送りいたします。

15:45～16:30 全体会・閉会式

全体会 「新人Hソケリッサ！」ダンスパフォーマンス&メッセージ

映画「tHe dancing Homeless」に登場する路上生活経験者を集めたダンスグループ「新人Hソケリッサ！」によるダンスパフォーマンスとアオキ裕キさんからのメッセージ

出演：新人Hソケリッサ！
アオキ裕キさん（振付家）

閉会式

主催者あいさつ
実行委員会あいさつ
次回開催地（東部地区）へ引継ぎます。
閉会のことば

集会参加者のための
お弁当ご注文承ります
700円
(お茶付き・税込)

参加者にあたりお願い

- ・当日は、マスク着用、手指消毒にご協力をお願いします。
- ・当日、体温37.5度以上の方や強い倦怠感・せきなどの症状がある方は、参加をご遠慮ください。
- ・会場内での、三密を避けるとともに手洗い、うがいなど感染防止にご協力をお願い致します。
- ・基調講演と第7分科会（Zoom・ICT）はオンライン参加が可能です。

参加申込みは
こちらからもできます



うまく読み取れない場合は、
ボランティア協会ホームページから
アクセスしてください。

※ 感染症の拡大状況によっては事業内容の変更・中止をする場合があります。ご理解くださいますようお願いいたします。

会場案内

浜松市浜北文化センター（住所：浜松市浜北区貴布祢291-1）

●電車でお越しの場合

遠州鉄道浜北駅から徒歩5分

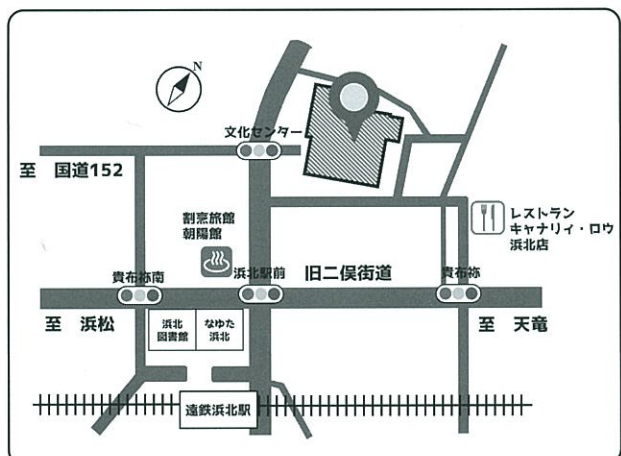
●お車でお越しの場合

※周辺指定の駐車場利用可（台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください）。

※マイクロバス等を利用される場合は、事前に事務局までご連絡ください。

○有料道路からのアクセス

東名高速道路 浜松・浜松西ICから約20分
新東名高速道路 浜松浜北ICから約15分
JR浜松駅からタクシーで約30分



▶▶▶ 第43回静岡県ボランティア研究集会 ◀◀◀

「静岡県ボランティア研究集会」は、静岡県内でボランティア活動・市民活動に関心を持つ人たちがや実際の活動に参加している人たちが一堂に会し、情報の交換や話し合いを通してお互いの活動に関する学習を深めるとともに、ボランティア同士のネットワークづくりを推進し、県内におけるボランティア・市民活動の発展に寄与することを目的に開催します。

1. 日 時 2022年（令和4年）2月13日（日） 10：00～16：30
2. 会 場 浜松市浜北文化センター（住所：浜松市浜北区貴布祢291-1）
3. 対 象 ボランティア・市民活動に関心のある方ならどなたでも
4. 定 員 300人
5. 参加費 一般 1,000円 ・ 高校生以下 無料
・参加費は資料代及び運営費の一部としていただきます。
・参加費は、参加申し込み後、主催者より「参加案内」が届きましたら、案内された指定の方法でお支払いください。
・お支払いいただいた後に参加をキャンセルされた場合、参加費の返金はできません。あらかじめご了承ください。
・昼食は、各自でご持参くださるか、事前にご注文ください。
※なお、昼食を希望される方は、参加申込書に記入してください。（700円 お茶付き）
6. 申込み 所定の参加申込書に必要事項をご記入の上、静岡県ボランティア協会まで郵便またはFAXにてお送りください。
7. 締 切 り 2022年1月25日（火）
※定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます。
※希望者が多い分科会については、事務局で調整いたしますのでご了承ください。
8. そ の 他 ・介助が必要な方は予めお申し出ください。（手話通訳・要約筆記など）
・基調講演の内容やすべての分科会で話し合われた内容を簡潔にまとめた「第43回静岡県ボランティア研究集会報告書」をご希望の方へ販売いたします（600円/冊）。
購入を希望される方は、集会当日にお配りする報告書申込書にご記入の上、事務局に申し込んでください。

【問合せ先】

特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館2階

TEL：054-255-7357 FAX：054-254-5208 e-mail：evolnt@mail.chabashira.co.jp

公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 静岡県勤労者総合会館3階

TEL：054-273-3000 FAX：054-272-7326

社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会

〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館3階

TEL：054-254-5224 FAX：054-251-7508 e-mail：chiiki@shizuoka-wel.jp

社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会

〒430-0925 浜松市中区寺島町450（旧・高砂小学校 敷地内）

TEL：053-453-0580 FAX：053-452-9218